

健全化比率DB (延岡市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年 延岡市	2008(H20)年 延岡市	2009(H21)年 延岡市	2010(H22)年 延岡市	2011(H23)年 延岡市
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	3.11	3.20			
	1-002	実質赤字比率 *	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-)	3.25	3.33		
	1-003		早期健全化基準(11.25~15%)	-11.77	-11.76		
	1-004	(参考)公営比率 *	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-)	6.36	6.12		
	1-005		補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	6.64	6.37		
	1-006	連結実質赤字比率 *	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	9.47	9.32		
	1-007		補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-)	9.89	9.70		
	1-008		早期健全化基準(16.25~20%)	-16.77	-16.76		
	1-009	実質公債費比率 *	実質公債費比率(3ヵ年平均)	15.34	14.77		
	1-010		単年度実質公債費比率(本年度)	14.56	14.20		
	1-011		補正単年度実質公債費比率(本年度)	15.36	14.91		
	1-012	将来負担比率 *	将来負担比率	142.6	137.5		
	1-013		補正将来負担比率	150.4	144.4		
	1-014		修正将来負担比	131.1	126.2		
	1-015		補正修正将来負担比率	138.3	132.6		
	1-016	参考資料 *	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	4.29	3.97		
	1-017		元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	17.29	17.55		
	1-018		標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	30.71	39.53		
	1-019		補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	25.10	33.99		
	1-020		人口増減率(5 (本年度・3.31住基人口/5年前・3.31住基人口)	7.98	7.72		
	1-021	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)	-2.87	-2.87			
	1-022	市町村類型等 (前年度市町村類型等)	都市Ⅲ-1	都市Ⅲ-1			
	1-023	財政統計研究所 * (切捨処理後の比率)	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	3.11	3.19		
	1-024		連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	9.46	9.31		
	1-025		実質公債費比率(3ヵ年平均)	15.3	14.7		
	1-026	将来負担比率	142.5	137.4			
	1-027	総務省 公表比率	実質赤字比率	-	-		
	1-028		連結実質赤字	-	-		
	1-029		実質公債費比率(3ヵ年平均)	15.3	14.7		
	1-030		将来負担比率	142.5	137.4		
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	3.11	3.19		
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-		
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.11	3.20		
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.25	3.33		
	2-035	早期健全化基準(11.25~15%)		-11.77	-11.76		
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字) A (本年度分)		955,657	995,599		
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) B=C+D (本年度分)		30,717,284	31,116,610		
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) C (本年度分)		29,398,361	29,881,232		
	2-039	臨時財政対策債発行可能額 D (本年度分)		1,318,923	1,235,378		
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計		
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1~	一般会計等1	実質収支額	955,657	995,599		

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名					
2-043		一般会計等2	実質収支額					
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062	一般会計等12	会計名						
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		一般会計等	合計(1~16)	955,657	995,599			
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	9.46	9.31		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	9.47	9.32		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	9.89	9.70		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-16.77	-16.76		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	6.36	6.12		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	6.64	6.37		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	2,907,763	2,899,684		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	30,717,284	31,116,610		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	29,398,361	29,881,232		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	1,318,923	1,235,378		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	955,657	995,599	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険(国民健康保険(事業勘定)	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	363,370	198,412	
3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	①	①		
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	国民健康保険(国民健康保険(直診勘定)		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	58,648	0		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	②	②		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	介護保険	介護保険		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	400,505	280,296		
3-094	11	公営事業4	事業区分	⑤	③		
3-095	12	公営事業4	会計名	老人保健	後期高齢者医療		
3-096	13	公営事業4	実質収支額	-140,218	26,682		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	⑤		
3-098	15	公営事業5	会計名		老人保健		
3-099	16	公営事業5	実質収支額		0		
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	水道事業	水道事業		
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	1,124,497	1,297,520		
3-126	43	法適2	会計名	下水道事業	下水道事業		
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	141,168	101,175		
3-128	45	法適3	会計名	0	0		
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130	47	法適4	会計名	0	0		
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132	49	法適5	会計名	0	0		
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134	51	法適6	会計名	0	0		
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136	53	法適7	会計名	0	0		
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138	55	法適8	会計名	0	0		
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140	57	法適9	会計名	0	0		
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142	59	法適10	会計名	0	0		
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	会計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	会計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	会計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	会計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	会計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	会計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	会計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	会計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	会計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	会計名	食肉センター(と畜場)	食肉センター(と畜場)		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	0	0		
3-164	81	法非適2	会計名	簡易水道事業	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	4,136	0		
3-166	83	法非適3	会計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	会計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	会計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	会計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	会計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	会計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	会計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	会計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	会計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	会計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	会計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	会計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	会計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	会計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	会計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	2,907,763	2,899,684		
4-201	実質公債費比率*	四捨五入	(3カ年平均)	15.33644	14.76977			
4-202	実質公債費比率(総務省)	切捨て	(3カ年平均)	15.3	14.7			
4-203	実質公債費比率1*	四捨五入	(前々年度分)	15.89561	15.55243			
4-204	実質公債費比率2*	四捨五入	(前年度分)	15.55243	14.56129			
4-205	実質公債費比率3*	四捨五入	(本年度分)	14.56129	14.19561			
4-206	補正単年度実質公債費比率*		(本年度分)	15.35859	14.91373			
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前々年度分)	4,050,970	4,021,586			
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前年度分)	4,021,586	3,699,529			
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(本年度分)	3,699,529	3,642,010			
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前々年度分)	30,697,805	31,088,499			
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前々年度分)	29,038,699	29,634,690			
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前々年度分)	1,659,106	1,453,809			
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前々年度分)	5,212,970	5,230,254			
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前年度分)	31,088,499	30,717,284			
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前年度分)	29,634,690	29,398,361			
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前年度分)	1,453,809	1,318,923			
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前年度分)	5,230,254	5,310,675			
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(本年度分)	30,717,284	31,116,610			
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(本年度分)	29,398,361	29,881,232			
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(本年度分)	1,318,923	1,235,378			
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(本年度分)	5,310,675	5,460,712			
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前々年度分)	7,215,791	7,154,338			
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額	(前々年度分)					
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額	(前々年度分)	0	0			
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(前々年度分)	1,973,339	2,029,296			
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額	(前々年度分)	0	0			
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	74,810	68,206			
4-228		⑦ 一時借入金の利子	(前々年度分)	0	0			
4-229		⑧ 特定財源の額	(前々年度分)					
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	1,529,583	1,443,834			
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	518,992	537,099			
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前々年度分)	2,191,443	2,261,666			
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)	(前々年度分)	957,239	969,644			
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	0	0			
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	15,713	18,011			
4-236		⑮ 標準税収入額等	(前々年度分)	15,712,508	16,710,322			
4-237		⑯ 普通交付税額	(前々年度分)	13,326,191	12,924,368			
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前々年度分)	1,659,106	1,453,809			
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債	(前々年度分)	0	0			
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	29,016	28,265		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)		0		

4-246		地方公共団体以外の者の債務(前々年度分)		0	
4-247		その他これらに準ずると認めら(前々年度分)	16,849	27,788	
4-248		利子補給に係るもの(前々年度分)	28,945	12,153	
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(前年度分)	7,154,338	7,358,016	
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(前年度分)			
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(前年度分)	0	0	
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(前年度分)	2,029,296	1,577,942	
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(前年度分)	0	0	
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(前年度分)	68,206	74,246	
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(前年度分)	0	0	
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(前年度分)			
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	1,443,834	1,286,713	
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	537,099	378,339	
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(前年度分)	2,261,666	2,656,414	
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(前年度分)	969,644	969,102	
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0	
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	18,011	20,107	
4-263		⑮ 標準税収入額等(前年度分)	16,710,322	16,781,945	
4-264		⑯ 普通交付税額(前年度分)	12,924,368	12,616,416	
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(前年度分)	1,453,809	1,318,923	
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(前年度分)	0	0	
4-267		⑥の内訳 PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0	
4-268		いわゆる五省協定等により、利(前年度分)	0	0	
4-269		国営土地改良事業並びに独立(前年度分)	0	0	
4-270		地方公務員等共済組合が建設(前年度分)	0	0	
4-271		社会福祉法人が施設の建設の(前年度分)	28,265	28,017	
4-272		損失補償又は保証に係る債務(前年度分)		0	
4-273		地方公共団体以外の者の債務(前年度分)		0	
4-274		その他これらに準ずると認めら(前年度分)	27,788	21,406	
4-275		利子補給に係るもの(前年度分)	12,153	24,823	
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(本年度分)	7,358,016	7,455,136	
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(本年度分)			
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(本年度分)	0	0	
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(本年度分)	1,577,942	1,583,413	
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(本年度分)	0	0	
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(本年度分)	74,246	64,173	
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(本年度分)	0	0	
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(本年度分)			
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	1,286,713	1,184,032	
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	378,339	341,299	
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(本年度分)	2,656,414	2,962,732	
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(本年度分)	969,102	950,205	
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0	
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	20,107	22,444	
4-290		⑮ 標準税収入額等(本年度分)	16,781,945	16,611,223	
4-291		⑯ 普通交付税額(本年度分)	12,616,416	13,270,009	
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(本年度分)	1,318,923	1,235,378	
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(本年度分)	0	0	
4-294		⑥の内訳 PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	0	
4-295		いわゆる五省協定等により、利(本年度分)	0	0	
4-296		国営土地改良事業並びに独立(本年度分)	0	0	

4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	28,017	26,338			
4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		0			
4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	21,406	20,495			
4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	24,823	17,340			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	142.593	137.471		
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	142.5	137.4		
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	150.400	144.426		
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	131.148	126.169		
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	138.329	132.552		
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	109,758,460	109,576,571		
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	73,530,524	74,307,108		
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	36,227,936	35,269,463		
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	30,717,284	31,116,610		
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	29,398,361	29,881,232		
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	1,318,923	1,235,378		
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算入	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	5,310,675	5,460,712		
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る額	C-D	(本年度分)	25,406,609	25,655,898		
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高	70,858,341	71,370,425		
	5-317	に用いた、将来負担	債務負担行為に基づく支出予定額		516,923	470,202		
	5-318	額等の算出に係る基	公営企業債等繰入見込額		25,602,269	24,522,088		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額	0	0		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額	12,693,464	13,075,406		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	87,463	138,450	
	5-322			地方道路公社	0	0		
	5-323			土地開発公社	87,463	138,450		
	5-324			第三セクター等	0	0		
	5-325			連結実質赤字額	0	0		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額	0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金	10,700,615	10,420,355		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	5,033,956	4,929,401	
	5-329			うち都市計画税	0	0		
	5-330			基準財政需要額算入見込額	57,795,953	58,957,352		
	5-331		A	将来負担額	合計	109,758,460	109,576,571	
	5-332		B	充当可能財源等	合計	73,530,524	74,307,108	
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	36,227,936	35,269,463	
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	5,310,675	5,460,712	
5-335		C-D	将来負担比率算定の分母の額	合計	25,406,609	25,655,898		
参考比率	6-336		実質黒字比率(+)又は実質赤字比率(-)		3.11	3.19		
	6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+)又は連結実質赤字比率(-)		9.46	9.31		
	6-338	(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		15.3	14.7		
	6-339		将来負担比率		142.5	137.4		
	6-340		実質赤字比率	-	-			
	6-341	総務省公表比率	連結実質赤字比率	-	-			
	6-342		実質公債費比率(3ヵ年平均)		15.3	14.7		
	6-343		将来負担比率		142.5	137.4		
	6-344	参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		1.65	1.71		
	6-345	⇒歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		5.01	4.99		
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		6.37	6.26			
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		62.42	60.64			

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	2.63	2.77		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	7.99	8.07		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	10.17	10.13		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	99.57	98.11		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	3.99	4.05		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	12.14	11.79		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	15.45	14.81		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	151.25	143.45		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	7.36	7.71		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	22.40	22.47		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	28.50	28.22		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	279.04	273.28		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	7.07	7.41		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	21.50	21.57		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	27.36	27.09		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	267.89	262.37		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	955,657	995,599		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	2,907,763	2,899,684		
6-366		実質公債費負担額	3,699,529	3,642,010		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	36,227,936	35,269,463		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	58,040,377	58,158,783		
6-369		(2)歳入一般財源等	36,385,656	35,947,389		
6-370		(3)基準財政需要額	23,952,463	24,587,105		
6-371		(4)基準財政収入額	12,982,860	12,906,117		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	135,232	134,428		
対前年増減	7-373 実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		0.09		
	7-374 対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		0.08		
	7-375	早期健全化基準		0.02		
	7-376 (参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		-0.24		
	7-377 対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		-0.27		
	7-378 連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		-0.15		
	7-379 対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		-0.19		
	7-380	早期健全化基準		0.02		
	7-381 実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		-0.57		
	7-382 対前年増減*	単年度実質公債費比率		-0.37		
	7-383	補正単年度実質公債費比率		-0.44		
	7-384 将来負担比率	将来負担比率		-5.12		
	7-385 対前年増減*	補正将来負担比率		-5.97		
	7-386	修正将来負担比		-4.98		
	7-387	補正修正将来負担比率		-5.78		
	7-388 健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		39,942		
	7-389 対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		-8,079		
	7-390	実質公債費負担額		-57,519		
	7-391	将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		-958,473		
	7-392 健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		399,326		
	7-393 対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		482,871		
	7-394	臨時財政対策債発行可能額		-83,545		
	7-395 参考比率分母	歳入総額		118,406		
	7-396 対前年増減*	歳入一般財源等		-438,267		
	7-397	基準財政需要額		634,642		
	7-398	基準財政収入額		-76,743		

団体指定・健全化比率DB

延岡市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館

<http://zaisei.net/>